

# 山下智久主演

# 正直不動産は

# なぜ面白い？

山下智久主演のNHKドラマ「正直不動産2」が放送中だ。不動産をめぐる物語だが、家の売買にはそれぞれの家族の事情があり、最後はいつもなんだかほろりとさせられる。人情に満ちた、話題のドラマの魅力を探った。



観ていない方のために、ざっくりと内容を説明する。山下智久演じる不動産営業マン・永瀬財地はこれまで嘘を並べて顧客に接し、ツブセールスを続けてきた。その名もライアー永瀬。しかしある日、ほころと石碑を壊したあたりで嘘がつけなくなってしまう。暮らしは一転。タワマンから、

ポロアパートへ。遊びの恋愛もひとたび本音が出れば、ポロも出る。それでも正直な生き方は周囲を笑顔にしていける。永瀬は言う。「会社にも貢献できてお客にも喜んでもらえた。何なんだ、この気持ちは。そうか、俺は嬉しいんだ」(シーズン1・エピソード4より)。充足感を覚えて、正直な自分



の営業スタイルに自信を持つていく。ドラマは年明けのスペシャル版を経て、1月9日から「ドラマ10」正直不動産2に放送中。全10話でストーリーは1話完結。このドラマの面白さをドラママウオッチャーのカトリーヌあやこさんとコラムニストの吉田潮さんが解説する。

87歳の俳優、山崎努との再共演も見どころだ。シーズン1最初の放映日(2022年4月5日)にツイッタ―(現X)を開始した山崎は「山下智久とは、十数年前、テレビドラマで共演して以来の付き合いで、彼がどんな人間に育って行くのかずっと楽しみにしてきました。今回カメラの前で立派な男になったことを確認、うれしかった。そして、あと十数年経ったらどんな奴に、と思った。その確認はもう出来ないけれど」とツイートした。

写真：NHK提供

えているが、まだ少ない。夏原さんの原案も面白い。呪いがかかって本音をおちまけてしまうところなんかは、どれだけ不動産業に嘘が多いのか?と思わせるを得ない。不動産の売買や賃貸の中で、見えてくる家族の事情。それを営業マンとして丸め込まないで、本音をおちまけることで、家族の本音が明らかになっていく。こういったフォーマットのあるドラマって最後に倍返す。『半沢直樹』もそうでしたが、観やすい。みんな「来るぞ来るぞ」って期待感で盛り上がり。永瀬に風が吹いて、思わず本音を出しちゃうところは『痛快TV5スカッとジャパン』じゃないですけど、割とそこにカタルシスがあるのかな(同)

観ていない方のために、ざっくりと内容を説明する。山下智久演じる不動産営業マン・永瀬財地はこれまで嘘を並べて顧客に接し、ツブセールスを続けてきた。その名もライアー永瀬。しかしある日、ほころと石碑を壊したあたりで嘘がつけなくなってしまう。暮らしは一転。タワマンから、

無口系な役が多かった山Pが残念イケメンになっていくところが面白い。これまでの山下さんと比べると新しい境地(同)

かかっている。カッコいいだけじゃない役にやり甲斐を見いだしたように見える。不動産用語をイラストで交えてわかりやすく解説しているところが魅力だ。「それがさらっと自然で、物語を邪魔していない。さすがNHK。ちゃんとお勉強させてくれます」と吉田さんは感心する。

最後にドラマの永瀬財地そのものと評判の鈴木誠さんに話を聞く。ドラマの取材協力もしている鈴木さんは、完全紹介制である誠不動産(東京都渋谷区)の代表だ。「住む家で人生が変わります。私は、住んだ後に楽しく幸せになっていただきたいという思いでいつも探して紹介しています。物件のデメリットも隠さず伝えます。紹介したら終わり、ではなくその後の相談にも乗り、提案だってします。不動産はすべてが信頼関係。『正直不動産』のようなドラマが増えていってほしい。不動産の営業って人々に幸せを導くことができる最高の仕事なんです」

「ただ不動産の裏事情のドラマというだけでなく、チャ

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

「ただ不動産の裏事情のドラマというだけでなく、チャ

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

「山崎努に草刈正雄、大地真央ら大物役者が配置される。山Pがちょうどいい。カッコつけさせてもらえない山Pっていいのはいいと思う。コミカル山Pはいいな。山Pってスタイルもいいし顔もいいし、結局二枚目になってしまふ。二枚目が二枚目の役を演じててもインパクトには残らない。山Pが三の線をこの『正直不動産』で身につけている感じがする。楽しく演じている感じも伝わってくる。風が吹いて、正直トークをおちまけるところはある意味一人芝居。その面白さを引き出すのは彼一人に

嘘のつけない営業マンによる人情ドラマ▼カッコよくないコミカル山Pが新鮮▼家を買って、売る際の勉強にもなる